

第3回府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会（要旨）

平成25年9月21日（土）

午前10時から正午まで
府中市役所北庁舎3階会議室

- 1 出席委員 24人
- 2 欠席委員 1人
- 3 事務局 政策総務部政策課長 古森、
庁舎建設担当副主幹 茂木、庁舎建設担当主査 伊橋
（株）日本設計 成田、佐藤、村瀬
- 4 傍聴者 1名
- 5 議事 前回のまとめ
グループディスカッション
 - ・ 現庁舎について、利用者目線で気付くことや感じていること
 - ・ ～個性ある新庁舎、ふちゅうで実現～
新庁舎におけるユニバーサルデザインについてその他
- 6 資料 資料1 第3回市民検討協議会グループディスカッションテーマ
資料2 庁舎建設ふちゅうかわら版（第1号）

【要旨】

茂木 第3回府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会を始めます。

委員定数25人中22人が出席しており、過半数を超えているため本協議会は有効に成立します。(後に2名到着)

傍聴希望者がおります。傍聴を許可してよろしいでしょうか。

(※良いとの声あり。傍聴者入室)

(※配布資料の確認)

1 前回のまとめ

伊橋 【ふちゅうらしさについてのおさらい】

- ・ 「ふちゅうらしさを読み解く」という事に関して、前回までの市民検討協議会での意見、職員検討会での意見を追記した。
- ・ 1「水と緑の豊かな空間」では、都立府中公園についての意見を頂いたことから、ケヤキ並木、府中用水、西府湧水に加え、“公園”を追記した。
- ・ 2「歴史と伝統と文化を持つ」では、熊野神社、府中囃子、国府太鼓、例大祭、商工まつりと、たくさんの意見を頂いた。中項目として整理した伝統を受け継ぐ精神の中に、伝統だけでなく“伝統芸能”も追記した。
- ・ 3「活発な市民協働・活動」では、市民活動、地域ボランティア、議会を通した民意反映に加え、“企業との協働”を追記した。

【前回のまとめ】

- ・ 前回は、①「歴史・伝統・文化」を発展させるための庁舎におけるフリースペースの活用方法について、②市民活動における市民と行政との関係をより良くするための庁舎の役割について、③議場についての3つのテーマで行った。
- ・ ①フリースペースの活用方法についての意見は、ア：物販飲食、イ：展示関連、ウ：その他の大きく3つに分類できる。全体的に「産官学の連携を図る」という意見が出たほか、「駅前再開発に市民活動の場ができることから大きなスペースは必要ない」という意見も出た。
- ・ 「ア：物販飲食」ではフリーマーケットや農協、農工大、農業高校などで作られた農産物の販売所、それら府中産野菜を使用したレストランなどの意見が出た。
- ・ 「イ：展示」は、市にまつわる歴史の展示をしたらどうかという意見などが出たが、ふるさと歴史館など他施設があるため不要ではという意見も出た。自然という点では崖線や田などの特色の伝達など、祭りという点ではくらやみ祭り、お囃子など、スポーツという点ではフットサルチーム、企業のラグビーチーム、競馬のPR展示といった意見が出た。
- ・ 「ウ：その他」の意見としては、災害対応可能な場所や高齢者の休憩所、ディスプレイの場(新しい産業・企業創生の場)、ボランティアセンター、学生を呼込む、市民行事の活性化、市民コンサートといった意見が出た。

【駅前再開発（A 地区）の状況について】

- ・ ①フリースペースの活用方法の中で、駅前再開発（A 地区）について意見を頂いた。改めて状況を報告する。
市民活動の拠点として、実際に市民が活動を行う「市民の交流の場、市民活動の支援窓口」の実現に向け、市民参加で進められている市民活動推進協議会で議論を行い、最終的な整備計画の内容をまとめている。今後この整備計画の内容を踏まえ、皆様からの意見とともに、A 地区と庁舎の役割分担について検討を進めたい。
- ・ ②市民と行政の関係をより良くする為の庁舎の役割については、ア：場の提供、イ：機会の提供、ウ：災害時対応の大きく 3 つに分類できる。
- ・ 「ア：場の提供」は、自治会相互の関係の架け橋、三多摩地域の拠点などの意見が出た。
- ・ 「イ：機会の提供」は、市長や市職員との交流の機会を増やす、市民の声を広く聴き入れる体制、行政情報を可能な限り公開する、若者へ市役所のアピール、観光 PR といった意見が出た。
- ・ 「ウ：災害時対応」は、災害時の情報発信拠点、災害時に対応できるフレキシブルな庁舎といった意見が出た。
- ・ その他の意見として、窓口に関連し、高齢者と子育て世代関連部署を低層階に配置、手続きに関係する窓口を 1 階に集約などといった意見や、適切な動線計画や職員の執務環境向上など全体の使い勝手についての意見、維持保全コストの検証といった意見も出た。
- ・ ③議場については、ア：使える議場、イ：見える議場という大きく 2 つに分類できる。
- ・ 「ア：使える議場」は、多目的な利用が可能な議場として、市民協議会・審議会等様々な集まりや小中高生の模擬議会、結婚式、コンサートを行う、といった意見が出た。
- ・ 「イ：見える議場」は、顔が見える傍聴席配置、外からも様子が見える、議場カメラの設置によりテレビやネットでの配信などの意見が出た。
- ・ その他としては、議場の仕上げは質素でよいのではないかと、傍聴者出入口は二方向にしてほしい、低層部は窓口重視とし、議場は上層階に設置といった意見が出た。

茂木 【前回の議事録の確認】

(※議事録に関する訂正事項等：無し)

茂木 【市民検討協議会で出された意見に対する職員からのアイデア・意見】

- ・ 前回の市民検討協議会で頂いた意見を職員検討会で報告した。報告した内容に対して職員からアイデアや意見が出たので紹介する。

伊橋 「市と地元企業の協働の場、産官学の活動の拠点となる場や、新しい産業や企業を創

生ずるディスカッションの場の提供」

- ・ 市民の健康を考える産官学連携ということで、サントリーにはノンアルコール飲料の提供を行ってもらい、大学では新歓コンパでサントリーPR、市では急性アルコール中毒を減らす啓発
- ・ 地元企業の就職セミナー
- ・ 災害時にサントリーが水の提供を行う
- ・ 大学や企業から講師を招き、市民や職員のための研修など行う
- ・ 外語大やNPOを活用し、市内の外国人が地域や生活にうまく溶け込めるような場を設ける
- ・ 農工大関係として農業高校産の野菜直売所・市民農園の支援・ペットの健康相談・災害時のペット保護や救護の実施

「マンション等が増え、自治会問題も多く発生してきている。他の街と相談出来る場や、相談所の提供」

- ・ 自治会や連合会のためのスペースを設けてはどうか
- ・ マンションの管理組合の人を集めた交流の機会を設ける
- ・ 市民相談の拡充を図る
- ・ 自治会同士であれば、近隣の文化センターの利用を優先してはどうか

「自治体単体の拠点ではなく、自治体同士をつなぐ中心拠点としての府中を目指して欲しい」

- ・ 武蔵国の対象となる自治体を府中市が束ねて活動し、国府復活を目指す

「行政も観光に力を入れて欲しい」

- ・ 観光マップ、観光ルートの策定・販売
- ・ ふるさと府中歴史館を新庁舎に組み込み、歴史のまち府中をPR
- ・ ドラマ、映画の撮影場所として使ってもらえる庁舎に
- ・ 建物自体が観光資源となるような庁舎に

「若者に市役所のアピールを」

- ・ 市のキャラクターやターフィ（＝府中競馬場のイメージキャラクター）で市をPRする
- ・ 府中マラソンをさらに大きく
- ・ 有名人の一日市長（東京FCのマスコットなど）
- ・ 自由に使える休憩スペース・カフェ等、居心地の良い空間
- ・ 街コンや婚活の場を提供
- ・ 他にもポスター展示、競馬場のイメージ向上、温泉を開発し足湯の設置、姉妹都市の佐久穂町の特産物直売、ご当地アイドルの発掘など

- 茂木
- ・ 職員からのアイデアは庁舎の機能として直接的な関わりはないが、これらのアイデアの中で、これから実現させていこうという話が出た場合、新庁舎でどう展開していけばよいかという話に将来的にはつながっていく。基本計画の中では、フレキシブルに対応できるなど、フリースペースの必要性について示していきたい。
 - ・ 今後必要に応じて、市民検討協議会、職員検討会で出た意見を共有したり、それぞれで出た意見に対してアイデアを伺うなどの連携を図っていきたい。

茂木 **【長岡市の状況等について】**

- ・ 前回、長岡市の協働の話の中で、長岡市の他の施設の稼働率はどうなっているのかという質問が出た。
- ・ 長岡市に確認を取った結果、アオーレ長岡の他にもいくつか似たような施設があり、中でも長岡市中央公民館、まちなかキャンパス長岡はアオーレ長岡と同様に稼働率が高い。中央公民館は地上 5 階で和室や音楽室、大ホール、小ホールなど市民が活動できる場となっている。まちなかキャンパス長岡についても多くの会議室や交流ルームと呼ばれる市民が集う場を有しており、アオーレ長岡に近いビルの 3 階から 5 階に設置されている。
- ・ 複数の施設があるが多くの市民の利用があり、市民活動を行う施設が足りないという状況となっている。アオーレ長岡の裏側にあるビルを借り新たに市民交流施設を設けるなどしている。市民の集う施設が多くある中で、全体的に稼働率が高いという状況であった。

(※次第 1 に対する質問)

委員 **【質問 1】**

- ・ 長岡市の公共施設全般の稼働率が高いということだったが、それは地域性によるものなのか、公共施設全般に言えるものなのか。もし後者であるならば、それを建設する背景や過程について、このような協議会が行われてきたものなのか、できた後の設定が良かったのかなど、可能であればそこまで掘り下げてほしい。

- 茂木
- ・ 地域性により活動の活発さが異なると思うが、府中市でも NPO ボランティアを始め市民活動団体が数多くある。市民活動を管轄している市民活動推進課と連携を図り、駅前再開発の 5,6 階だけで完結するものなのかということも調査しながら、新庁舎で必要なスペースを確保できればと考えている。

委員 **【質問 2】**

- ・ 府中市は文化センターが各地区にあるが、長岡市も同じような施設が各地区にあるのか。

- 茂木
- ・ 長岡市に府中市の文化センターのような施設があるかは確認していない。文化センターよりも規模の大きい施設がいくつか点在しているということは分かっている。

- 委員 ・ 分散化したほうが良いのか、ある程度集中化したほうが良いのか、稼働率が高いということが本当に効果的なのか、その辺りも検討する必要がある。
- 茂木 ・ 府中市においても、今後の庁舎のあり方として、どういう機能を併せ持ったほうが良いかということを検討していかなければならない。

委員 **【質問3】**

- ・ 何年か前に長岡市へ行った際、駅前全体が再開発された街であり、さらに発展していくよう感じられた。新しい建物が建設され、稼働率が良いというのは過渡期だからなのではないかと思う。
- 茂木 ・ 様々な施設ができ、多くの利用がされている時は良いが、今後人口減少とともに利用者も減ることも想定し、施設をどう活用していくかというところを含め、庁舎だけでなく市内全般の公共施設について考えていく「公共施設マネジメント担当」もできた。府中市全体の施設の計画をしっかりと立てていく。

2 グループディスカッションについて

日本設計 佐藤 **【グループディスカッションについて】**

- ・ テーマ『ア』は、現在使われている庁舎について、利用者の目線で気付くことと感じていることについて率直な意見を述べて頂きたい。
- ・ イメージが湧きやすいよう7つのキーワードを用意した。①トイレ、②セキュリティ（カウンターのある方や情報のセキュリティを含む）、③開館時間・開館日、④情報発信、⑤交通（エレベーターなど）、⑥環境配慮、⑦その他（以上の6つの項目に属さないもの）。
- ・ テーマ『イ』は、個性ある新庁舎を実現ということで、庁舎におけるユニバーサルデザインに関する意見を頂きたい。
- ・ 前回、「今後高齢化社会に対応した庁舎を考えていかなければならないのでは」という意見を頂いた。本日のディスカッションでもこのような視点で意見を頂きたい。
- ・ 窓口に関しては次々回のディスカッションテーマとして設定している。今回は窓口以外のユニバーサルデザインについて意見を頂ければと考えている。

【ユニバーサルデザインについて】

- ・ ユニバーサルデザインとは「年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、できるだけ多くの人利用可能なよう、人間本位の考え方によって環境をデザインすること」である。ユニバーサルデザインの7原則というものがあり、それを踏まえ、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」が定められている。
- ・ ①公平：だれもが同じように利用できる。
例) 同じルートで目的地に着くことができる、健常者と車いす利用者が同じルートで移動できるなど
- ・ ②簡単：容易に利用できる。
例) わかりやすい情報や車いす利用者に配慮した通路の広さなど

- ・ ③安全：誰もが危険なく安全に利用できる。
例) 健常者にとっては微妙な気にならない段差であっても、車いす利用者や杖を利用している方にとっては危険が伴うような段差がないかなど
- ・ ④機能：使い勝手良く利用できる。
例) 子どもからお年寄り、車いす利用者までしっかり見えるよう、視点の高さに配慮するなど
- ・ ⑤快適：快適に利用できる
例) ゆるやかなスロープなど、苦痛を感じさせない工夫など
- ・ ユニバーサルデザインには大きく3つの考え方がある。①情報、②もの、③交通である。誰にとってもどのような状況であっても、いつでもこの動作が叶うというものがユニバーサルデザインの考え方となっている。
- ・ 府中市ユニバーサルデザインの5つの視点を踏まえ、新庁舎に求められる意見を頂き、最終的にはユニバーサルデザインのふちゅうモデルをつくっていきたくと考えている。

(※他市庁舎の事例紹介)

- ・車いす駐車場
- ・エントランス
- ・授乳室
- ・多目的トイレ
- ・サイン

(※今までの説明の中での質問)

- 委員
- ・ 東京オリンピックが決定した。オリンピックが行われるという意識を持たなくてよいのか？
- 茂木
- ・ 2020年には府中市にも外国人観光客が来る可能性がある。ぜひそういった視点を踏まえディスカッションに取り組んで頂きたい。
 - ・ ただし、現時点で既に公表している事業工程では工事の完了予定は平成33年(2021年)となっている。仮設庁舎を建てることなく建設を実現させるなど、整備手法により工事工程が変わる可能性はある。
 - ・ 庁舎がいつ完成するかは断言できないが、普段から外国人の方が府中市に訪れたり、暮らしたりすることを意識する必要があるため、今後の参考とさせていただきたい。

(※グループディスカッションスタート 50分)

(※各グループの発表)

1G (2つのテーマを合わせて発表)

- ・ 免震構造の庁舎で、災害時の情報発信拠点にする。

- ・ 廊下が狭いので通路を広くする。
- ・ 庁舎内のスロープが急である。
- ・ 建物が古くてこわい。
- ・ ロッカーの上に多くのダンボールが積まれている。
- ・ 通路が狭く、通行者と打合せしている人がバッティングする。
- ・ 段差が多く迷路のようになっている。
- ・ 府中本町駅と府中駅の間ということで、庁舎内にふたつをつなげるような通路を設けても面白いのではないか。
- ・ 大國魂神社など、周辺の環境に配慮した低層の庁舎。
- ・ 気兼ねなく休憩ができるスペースをもっと広く。
- ・ 1階のロビー（市民談話室）が味気なく、ただの空間になってしまっている。
- ・ 日曜日も開庁してほしい。
- ・ エレベーターが狭い。
- ・ 車いす利用、ベビーカー利用を想定していない。
- ・ トイレが少ない。
- ・ トイレの入口が狭い。
- ・ 再開発の駐車場と連携を図り、利用効率を上げる。
- ・ 駐車場から庁舎への、車いすのアクセスが悪い。
- ・ 駐車場システムの改善を。
- ・ 府中街道は車が多いので、常時駐車場入口にガードマンをおいてほしい。
- ・ 駐輪場の屋根がある部分が狭い。
- ・ 庁舎内案内が設置されたが見づらい。
- ・ 売店がお粗末。品物が少なく、内容に魅力がない。
- ・ 食堂の営業時間が短い。
- ・ 市民も利用可能な給湯室ができればありがたい。清潔な水飲み場がほしい。
- ・ 休日に北庁舎へ来る際に西庁舎の通路を通るが、机の上に書類が置いてあり、セキュリティについて不安を感じる。書類は施錠可能なロッカーの中などに入れるなど対策すべき。
- ・ ノートパソコンのセキュリティワイヤーを付けているか、引き出しの施錠をしているかなど、危機管理の面で心配になった。
- ・ 府中市庁舎にサーバーがあると思うが、セキュリティの管理されたところに設置されているのか。また、個人情報セキュリティのかかるところに置いてあるか。不測の事態の際にも、業務継続できるようなバックアップデータはとっているのか。
- ・ 災害メールサービスなど、緊急時の情報発信ができる体制が整っているか。

2G 【テーマ ア】

- ・ 現庁舎については一番意見が多かったのがトイレの問題である。非常に狭くて使い勝手が悪い。

- ・ 開庁日・開庁時間が短いというか最近では、土日の利用者が多いということから、そういうところが不便である。
- ・ 自転車置き場の天井が低すぎ、頭をぶつけている人がいる。
- ・ 駐車場入り口が1箇所しか無い。
- ・ 空調管理について、適正な温度管理がされていない。
- ・ 窓口での相談スペースが狭いので、今後改善してほしい。

【テーマ イ】

- ・ 最近では手で押さなくても便座から立ち上がれば自動的に水が流れる。できるだけ手を使用しなくても利用しやすいように。
- ・ エレベーター・エスカレーター・階段は近い場所にあってほしい。
- ・ 市民が利用できる公衆電話・ファックス・パソコンなどを置いてほしい。
- ・ 年中無休で土日でも開庁してほしい。杉並区では365日開庁している。
- ・ ペットを預けるスペースもあればよい。
- ・ 目の不自由な方のための点字ブロックが引っかけたり、歩きづらい。新庁舎を検討する際は平面（フラット）にしてほしい。

3G 【テーマ ア】

- ・ 現庁舎については、すべて劣悪および改善の余地があるということで、他のグループと同意見のものが多い。
- ・ トイレが汚い。
- ・ 庁舎が暗い。
- ・ 重要書類に対しての片付けができていないのではないかな。
- ・ 庁舎内への出入りが無防備ではないかな。
- ・ 市役所の場所自体がわかりにくい。
- ・ ゆるやかな勾配の階段。階段の位置。空気の流れなどを考えてほしい。
- ・ エレベーターの数が少ない。
- ・ 回遊性があまり良くない。移動頻度の高いカウンター業務は1、2階にということでは当然であるが、現状では待合いの場所など、行き止まり感のある配置となっている。それを改善することにより、エレベーターの待ち時間が短くなるのではないかな。
- ・ 新庁舎を計画する上で、職員の意識も改善される余地があるのではないかなと思う。カウンターで執務テーブルを目にしたときに、椅子に上着がかけてあったり、テーブルの上が煩雑に見えることなどが気になる。銀行のカウンター周りを参考に、情報管理・整理整頓・身だしなみといった観点も少し考える余地があると思う。
- ・ 利用者としては銀行があるのはありがたい。

【テーマ イ】

- ・ 建築基準法などで必要最低限のルールは絶対的にあるので、当然守って建てられると思う。

- ・ 健常者ではない方が、各部署に移動するという考え方でユニバーサルデザインの話が進行している気がする。そうではなくて健常者でない方のみが使える総合窓口（ハートフル窓口）を設置すれば、ユニバーサルデザインに固執しなくてもよいのではないか。その窓口へ行けばどんな事案に対しても解決できる仕組みがあってもよいのではないか。各部署に手話ができる人がいるかというところではないと思う。他市区町村ではやっていないという意味で良いのではないか。

4G (2つのテーマを合わせて発表)

トイレ

- ・ トイレについて、以前小学校が停電したためにトイレが使用できなくなり休校になったという事件があった。そういったことのないよう全て電動にするのではなく、多目的トイレは別だが、なるべく手動にする。
- ・ トイレは広く、明るくしてほしい。

セキュリティ

- ・ 災害メールサービスの字が小さすぎると咄嗟の時に読みづらい。
- ・ 監視カメラをつける。窓口にシャッターを付ける。

閉庁時間・開庁日

- ・ 24時間にしてもらえれば一番良い。24時間が無理でも高齢者関係窓口等、部署によって開庁時間を長くしてもらいたい。

情報発信

- ・ 広報テレビの活用。
- ・ 総務・広報の部署は市民の目に付くところで仕事をしてもらいたい。
- ・ 災害時などにはFMラジオをつけてほしい。

交通

- ・ タクシーで来庁する高齢者が円滑に庁舎へ入れるようなアプローチを工夫してもらいたい。
- ・ 庁舎の入り口、階段、エレベーターも同様に高齢者が円滑に通れるようにしてもらいたい。
- ・ エレベーターが狭い。

環境配慮

- ・ 太陽エネルギーの活用を考える。
- ・ 西側に緑を置く。

その他

- ・ 各フロアに休憩所がないので設置してもらいたい。
- ・ 非常用電源を長時間使えるものにする。
- ・ 防災センター（防災危機管理課）は本庁舎に置くべきではないか。

茂木 【グループディスカッションへのコメント】

- ・ 現庁舎について利用者の目線で気付くことについては、様々な思いを持たれて利用されていると感じ、関係者としては耳の痛い話が多くあった。そういった部分を今後の計画に活かしていかなければならない。
- ・ セキュリティに関連した話がいくつか出たが、これらについては庁舎の建替えに関係なく、今から職員の意識を変えていかなければならない。
- ・ 今回のテーマであるユニバーサルデザインは、今後策定する基本計画の中で重要なポイントとなる。皆様から頂いた意見を参考に基本計画へ反映させたい。
- 古森 委員 ． セキュリティに関連し、サーバー等セキュリティが確保されているのかという質問があったが、サーバー室のある北庁舎は東、西庁舎と違い新耐震設計基準となっており、職員でも許可を得ないと入ることのできない仕組みとなっている。
- ・ データのバックアップに関しては、バックアップはとっているものの、現在は同じ場所でのバックアップとなっている。東日本大震災規模の地震が起きた場合、そのデータが同じ場所で被災にあうと、結局使えず事業継続できなくなるという懸念から、遠隔地にそのデータを 2 箇所に分けて置く、2 箇所で同じデータを持っているという形で情報管理していくことで進めており、それについては 26 年度中にはそういった形になるよう進めている。
- ・ また、被災にあった時に HP の更新ができないと市民に対して情報提供できなくなることから、他の場所からでも HP の更新ができるよう、システムの変更を行っている。

(※次第 2 に関する質問)

委員 【質問 1】

- ・ バックアップのシステムについて、金融機関などでは広域災害を想定し、関東圏内にあったものを関西に移すなどしている。そういった配慮、計画となっているのか。

- 古森 委員 ． データセンターは耐震性の高い建物でかつ地震の起こりにくい場所にあり、毎日データをそこへ更新する。さらにもう 1 箇所同じようなデータセンターにデータを保管することでより安全な計画となっている。

委員 【質問 2】

- ・ 府中市の高齢者全員が PC を操作できるとは考えにくい。情報弱者と呼ばれているような人たちが府中市の中にどの程度いるのか。そういう人たちに対してどうやって情報を届けるのか。

- 古森 委員 ． 具体的な人数は把握していない。PC や携帯電話を持っていない方でも、新聞折込や郵送などで広報紙を届けるなど、平等に情報がいくよう心がけている。ただし全てがそのようにできるかという点と難しい。

- 委員 ． 日常的なことであればそれで済むが、緊急の場合はどうするのか。

- 古森 委員 ． 現在、地域防災計画の見直しを行っている。基本的には自助・共助で地域の方々に協力いただき、情報をその方々からお届けいただくということとなる。災害

時においては全て行政が対応するという事は困難であると考えてる。

委員 【意見】

- ・ 窓口を低層階に集中させるというような意見が多く出てるが、集中させすぎて職員数が多いというイメージを持たれるのが心配。ある程度部署を分散化させることも必要ではないか。

委員 【質問 3】

日本設計 成田

- ・ 災害に関連して、災害が起こった際に周りの建物が倒れても庁舎は残っているようにしないと情報発信拠点とならない。そういった意味で免震構造にする価値は高いと思うが、免震構造にすると高さのある建物が建てられない、地下に駐車場をつくることも技術的に困難だと聞いたことがある。技術的に可能か。
- ・ 現在計画中の庁舎、近年竣工した庁舎のほとんどが免震構造を採用している。高い建物にも採用可能で、タワーマンション等にも採用されている。地下に駐車場がある場合でも免震構造は可能である。1,2階が耐震構造で、その上に免震層を設けて免震構造としているケースもある。現在では様々な建物形状で免震構造が計画可能となっている。
- ・ 免震構造では、地震力が直接建物内に入ってこない。大きな地震があった際にも機能を停止することなく、業務維持ができ災害時に様々な情報を市民の皆様へ向けて発信できる。
- ・ 免震構造のほか耐震構造、制震構造の大きく3つの構造が現在採用されている。免震構造以外でも耐震性能を上げる、制振装置をつけることにより耐震性を高めることができるが、揺れが建物内に入るため、室内にある什器が倒れたり、天井や照明などが落下し、さらに被害が起こるといったケースもある。庁舎においては免震構造を採用するというのは現在進行中の設計の中では、非常に多く検討されている。
- ・ 次回は防災に関するテーマなので、構造に関する資料も用意し説明する。

3 その他

茂木

- ・ 次回の開催は10月12日（土）午前10時より同会場にて行う予定。
- ・ 以前質問に挙げた府中市の来庁者数に関して、今までは来庁者数のカウントは行っていなかったが、東西の入口において来庁者数を10月1日から31日までカウントするよう調整している。
- ・ カウントした数値については、時期をみて協議会にて報告する。可能であれば他自治体の来庁者数と比較できればと考えている。

(※全体を通しての質問・意見等)

委員 【質問 1】

茂木

- ・ 来庁者がどの窓口へどんな目的で来庁したのかを調べることは可能か。
- ・ 今後庁舎を設計していく上で、非常に重要な部分になると考えている。相互に関係の深い課がいくつあり、どのような形態になっているのかという現状を、

今後設計に入る前の段階で調査を行わなくてはならないと考えている。

- ・ 東西でカウントする来庁者数はあくまでも普段どれくらいの方が来庁されているのかを把握する簡単な調査となる。
- 古森 委員 基本構想策定時に、来庁者数に関する市民アンケートを実施した。調査対象人数が 500 人なので、結果が現状通りであるとは限らないが、来庁した方の約 85%程度が 1 階の窓口利用者であったことが集計されている。関連資料を次回の検討協議会で皆様へ提供する。

委員 【質問 2】

- ・ 次回協議会の資料はなるべく早く前もっていただけると助かる。当日出されても読み込みに時間がかかり十分理解できない。
- 茂木 委員 次回は防災拠点のテーマとなるので、日本設計から説明のあった免震構造などに関する資料であれば事前に用意することも可能である。

委員 【意見 1】

- ・ 庁舎検討の協議会なので、来庁された方に便利なようにというのは当然であるが、わざわざ役所へ来なくても手続きが可能というのが理想的であることを忘れないようにしていただきたい。
- ・ 情報についても同様で、わざわざ庁舎へ来なくても情報が得られることも大切だと考える。
- ・ 議会の様子や各委員会の配布資料について、インターネットを活用して情報収集できる自治体もある。府中市はそもそもそういった環境が無い。いつも遅れていると感じる。
- ・ 都市計画審議会の議事録を見ても、会議資料が掲載されていないためよくわからない。掲載している自治体もあるので、検討いただきたい。

委員 【意見 2】

- ・ 事前にいろいろな資料を用意してほしいという意見が出た。可能であればそれで良いが、今はインターネットを利用すれば免震など構造に関する知識は得られる。自ら予備知識として勉強されると日本設計からの説明もより理解できるのではないか。

委員 【意見 3】

- ・ 府中市を理解するという意味で、府中市の統計資料をグループ毎に 1 冊置いていただきたい。
- 茂木 委員 了解した。

第 3 回市民検討協議会終了 (12:00)